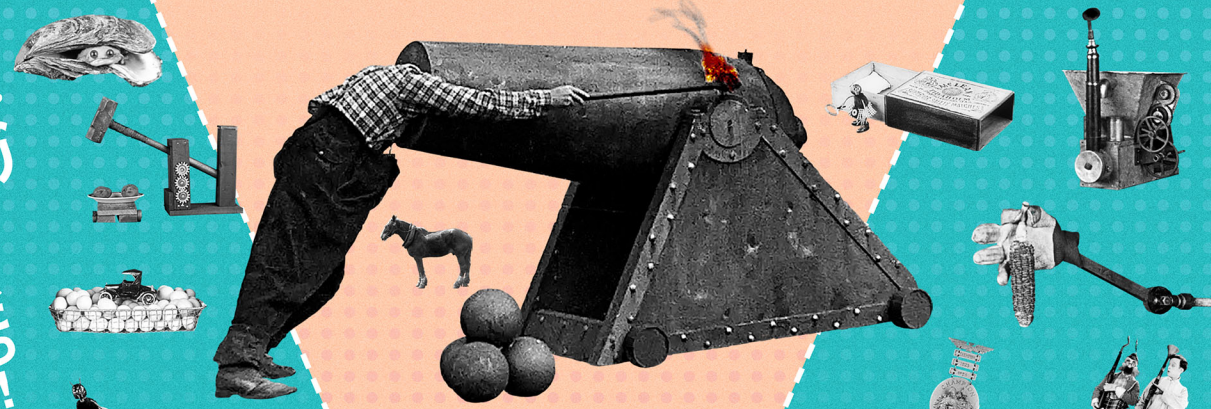


やっぱい
コレがイイのだつ！

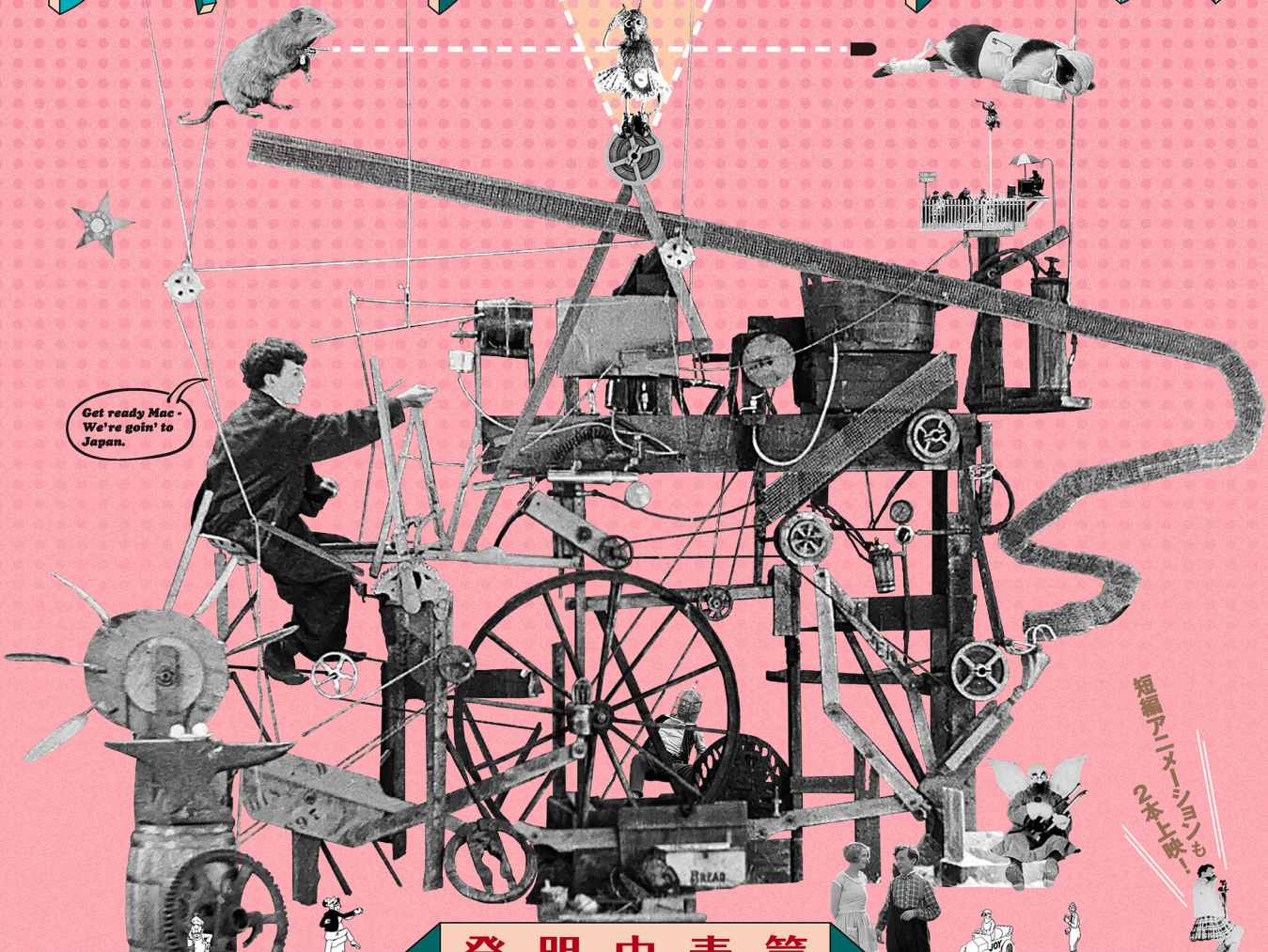


サイレント映画の「無垢なる発明家」バワーズの知られざる傑作たち

NOBODY KNOWS

チャーリー・バワーズ

CHARLEY
BOWERS



Get ready Mac -
We're goin' to
Japan.

短編アニメーションの
24本上映

発明中毒篇

- 「たまご割れすぎ問題」 EGGED ON
- 「全自動レストラン」 HE DONE HIS BEST
- 「ほらふき倶楽部」 NOW YOU TELL ONE
- 「怪人現る」 THERE IT IS
- 「とても短い昼食」 THE EXTRA-QUICK LUNCH
- 「オトボケ脱走兵」 AWOL or ALL WRONG OLD LADDEBUCK

誰も知らないクレイジー・ボーイ=チャーリー・バワーズ 100年の時を超えて蘇る!



チャーリー・バワーズ CHARLEY BOWERS

(1889頃-1946 / 米国アイオワ州出身)
伯爵家の血筋で、5歳で綱渡りをマスターし6歳でサーカス一座に誘拐された(本人談)。カートゥーン「マット&ジェフ」のアニメーターを経て、自身が主演する無声短篇映画の制作をスタート。長く忘れられていたが、1960年代にフランスで発見されたことを皮切りに、眠っていたフィルムが世界各地で発掘される(今回上映する6作品のうち4本はフランス語版)。21世紀に入り現存する作品のデジタル修復が行われた。

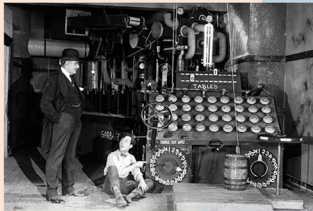
今から100年近く前のサイレント時代末期に生み落とされた、モダンでバンク、シュルレアリスティックでクレイジーなチャーリー・バワーズの作品たち。緻密なストップモーション・アニメーションと実写の融合(「バワーズ・プロセス」)による奇想天外な映像世界に加え、バワーズがのぞかせる喜劇王バスター・キートンのような憂愁と、キートンをもしのぐ狂気は観る者を驚かせ、笑わせ、時にはホラー映画のような恐怖さえも感じさせる。そんなバワーズだが、アンドレ・ブルトンやクエイ兄弟など芸術家たちに賞賛されていたながら、その実態はいまだに謎のまま。これほどの異能が、一体どうして歴史に埋もれてしまったのか……!?

そんな、自分の存在すら煙に巻いてしまった斜め上の天才バワーズの世界を、この秋、劇場で紐解く!!



『たまご割れすぎ問題』

ある日「たまごの殻が割れやすいのはおかしい!」と気づいてしまった、しがらない発明家バワーズ。まさかの着眼点から(まったく仕組みのわからない)「割れないたまご製造機」を発明してひと山あてようと大奮闘する。記念すべき実写映画第一作。
(原題:EGGED ON | 1926年 | 23分)



『全自動レストラン』

これが本当のロボットレストラン!? 愛する女性の父が経営する店を訪ね、結婚の承諾を得るはずが求人と誤解されたバワーズは……。まさにマシン・エイジならではの作品で、巨大機械を駆使してレストランの全作業を賄うワンオペの最終形態。
(原題:HE DONE HIS BEST | 1926年 | 23分)



『ほらふき倶楽部』

バワーズ再発見のきっかけとなった重要作。さる紳士に「ほらふきチャンピオン大会」へ招かれたのは、人生に絶望した若き発明家。万物が実る木を発明した彼の身に起きた「真実」とは、はたして……? ガンマンねずみ vs 無限猫の仁義にやきバトルも必見!
(原題:NOW YOU TELL ONE | 1926年 | 21分)



『怪人現る』

幽霊屋敷もののパロディで、アニメと実写がスピーディーに融合する怪作。「ひげの怪人」捜査のためスコットランド・ヤード(?)の探偵バワーズが相棒の謎生物マックと海を渡る。バワーズ屈指のハイパー・ナンセンス・ドタバタ劇について来れるか!?
(原題:THERE IT IS | 1928年 | 22分)

伴奏音楽: 塩屋楽団+Solla

稲田誠:contrabass, electric bass / 鈴木勝:electric guitar / 森本アリ:sampler, gameboy, jews harp
山本信記:synthesizer, trumpet / Solla:piano, organ, andes25f

*上映作品はすべて無声映画です。
日本上映用に新たに録音した伴奏音楽を付けて上映します。



NOBODY KNOWS
チャーリー・バワーズ
発明中毒篇



『とても短い昼食』原題:THE EXTRA-QUICK LUNCH
1917年 | 6分

『オトボケ脱走兵』原題:A.W.O.L. or ALL WRONG OLD LADDEBUCK
1918年 | 6分

バワーズ工房による制作が確認されている人気カートゥーン「マット&ジェフ」シリーズの1本と、新聞漫画家出身のバワーズらしい風刺の利いたアニメーション。

伴奏音楽: OTOWA-UNIT Kotaro Maruyama:keyboard
Toru Kunugida:percussion

公式サイト: <https://kobe-eiga.net/nonobowers> @nono_bowers